

人権教育の視点

◆人権重要課題への理解を深めるとともに、児童生徒一人一人の存在や思いを大切にしましょう。

※「人権教育の指導方法等の在り方について」
【第三次とりまとめ】（文部科学省）

児童生徒理解に基づく成長を促す生徒指導の充実

- ◎多面的・総合的な児童生徒理解に努め、一人一人のよさや違いを大切にされた指導の充実を図り、教職員と児童生徒との信頼関係を築きましょう。
- ◎集団の中で、各自が持っている可能性を伸ばしたり、互いに支え合う人間関係を形成したりして、集団の発展や個人の成長を促しましょう。

特別支援教育の視点

◆全教職員が障害への理解や個に応じた配慮等について認識を深め、組織的に支援しましょう。

※「小学校学習指導要領解説 総則編」（H29年7月文部科学省）
「中学校学習指導要領解説 総則編」（H29年7月文部科学省）
「発達障害理解パッケージVer.05」（R3年8月県教委）

困難課題対応的生徒指導

学校内におけるチーム支援（校内連携型支援チーム）

- 本人や保護者の意見を踏まえ、関係職員やSC・SSW等専門スタッフを交えたアセスメント（見立て）に基づく支援方針や役割分担の決定 ※「SC・SSWとの協働で学校の対応力を高めましょう!!」（R3年7月 県教委）
- いじめ、不登校、自殺企図等、生徒指導上の諸課題に加え、発達障害、外国人児童生徒等、ヤングケアラーなど、多様な背景をもつ児童生徒に対する組織的な支援と教職員の資質向上

学校外の専門家との連携による支援（ネットワーク型支援チーム）

- 児童相談所、警察、医療機関、市町村の保健福祉部局等との連携による、よりよい解決策の検討
- OSCSV、派遣型SSW、特別支援教育専門相談員の積極的な活用

特別な援助が必要な児童生徒に対して

不登校傾向児童生徒への支援

- 将来の社会的な自立へ向け、本人の中にある強みや成長する力を生かす支援 ※「不登校児童生徒の自立へ向けて」（H30年3月 県教委）
- 家庭の状況や本人の気持ちに寄り添った段階的な支援
- 教育支援センターやフリースクール等民間団体との連携 ※「すべての子どもたちが学び続けるために」（R4年10月 県教委）
- 教室で授業が受けられない児童生徒への学習保障 ※「ICTを活用した不登校児童生徒支援について」（R4年2月 県教委）

コーディネーター役の教員を位置付けた教育相談の推進



課題早期発見対応

SOSの受け止め体制の整備

- いじめ、不登校といった生徒指導上の諸課題は、誰にでも起こりうるという認識の共有 ※「R3年度文科省調査の結果を受けた県内の対応について」（R4年10月 県教委）
- 表情やしぐさ等、児童生徒の変化に気付いた際の積極的な声掛け、チャンス相談
- 日常の観察、健康観察、いじめアンケート等を通じた児童生徒の変化の早期発見・対応
- 命の危機、児童虐待、ヤングケアラー等に対する迅速かつ適切な支援 ※「児童虐待から子どもたちを守るために」（H31年2月 県教委）



気になる児童生徒に対して

いじめの早期発見・解消（再発防止）

- 学校いじめ対策組織を中核とした組織的な対応（抱え込みの防止）
- 児童生徒の感じる被害性に着目した、いじめの積極的な認知
- いじめを受けた児童生徒の安心と安全の確保、不登校、仕返し被害等の未然防止
- いじめを行った児童生徒の背景に目を向けた成長支援（傍観者への支援を含む）



※「いじめの解消に向けて大人たちができること」（R元年度 いじめ問題対策連絡協議会）

課題未然防止教育

SOSの出し方教育の推進

- 様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるためのSOSの出し方・受け止め方に関する教育の実施（意図的・計画的に年1回以上）
- ※群馬県版中学校「SOSの出し方に関する教育」プログラム（H31年3月 県こころの健康センター）
- ※「SOSの出し方・受け止め方指導プラン」（総合教育センターR元年度長期研修員作成）
- 困ったときに児童生徒同士で相談し合える雰囲気醸成

いじめ防止教育の充実

- 各校が策定した「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の充実
- 家庭・地域と連携しながら行う、児童生徒による主体的ないじめ防止活動の推進
- ICTリテラシー向上による、ネットいじめやネット依存の防止
- ※群馬県「ネットリテラシー向上動画教材」
「ネットリテラシー向上体験型Web教材」



- ・薬物乱用防止教室、情報モラル講習会の実施
- ・非行防止教室（県中学生非行防止プログラムの活用）

全ての児童生徒に対して

発達支持的生徒指導

自己指導能力の獲得を支える生徒指導「4つの視点」

【自己指導能力】深い自己理解に基づき「何をしたいのか」「何をすべきか」主体的に問題や課題を発見し、自ら設定した目標の達成のために自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自ら決断・実行する力

自己存在の感受

- 児童生徒が「自分も1人の人間として大切にされている」と実感できる場面の設定

共感的な人間関係の育成

- 自他の個性を尊重し、互いに認め合い・励まし合い、支え合うことのできる学級集団づくり

自己決定の場の提供

- 授業の中で、課題の設定や学び方など児童生徒自らを選択したり、決定したりする場の工夫

安全・安心な風土の醸成

- 安心して授業や学校生活が送れるような風土づくりと規範意識の向上

集団指導と個別指導の充実

集団を育てる

- 互いの考えや立場を認め合う
- 温かな人間関係のもと、互いに支え合う
- 共に成長する喜びを実感し合う



個を育てる

- 一人一人に活躍の場がある
- 成長意欲が高まり、様々なことに挑戦する
- 成功体験を積み重ね、自己肯定感が高まる